

3 学年通信

4月第6号

川崎市立川崎高等学校新3学年
4/17 発行 担当 畑中久枝

みなさ～ん
課題進めますか？
一緒にがんばろうね！

昨日 16 日は、みなさんからの課題についての問い合わせなどが多く、4階の教員ステーションはにわかに活気づきました。みなさんが課題にしっかり取り組んでいる様子がうかがえ、頼もしく感じました。この難局をともに乗り越えていきましょう！

今回も、先生方からいただいた3年生への応援メッセージを届けます。

不撓不屈

3年Eルーム担任 中村弘晃先生より

Never Give Up!

《先生方から3年生へのメッセージ》

副校長 浅沼宏先生より

新型コロナウイルスによるパンデミック（感染症の世界的な大流行）という危機的状況は、第一次世界大戦末期のインフルエンザパンデミック（いわゆるスペイン風邪）との類似性が指摘されるまでになっています。とても迷惑な話ですが、私たちは、いままさに【歴史の現場】に立ち会わされているのかもしれない。

ただ、スペイン風邪は、世界の総人口の約3割が感染するという未曾有な事態となり、のちの世界恐慌や第二次世界大戦の遠因ともいわれていますが、新型コロナウイルスの感染者は2百万人で、まだ桁が違います。今後の推移が非常に気になるところです。

私たちは、マスメディアやネット上の「デマ」や「ポジショントーク」【自分のポジションにとって有利に働くような物言い】に惑わされることなく、このウイルスを『正しく』恐れて、「stay at home」することがとても大切だと思います。

生徒諸君も、仲間に会えず、部活動はできず、授業は受けられず(!?)、辛い日々かと思いますが、当面「stay at home」し、それぞれの【進路実現のための準備】をしっかりとしてください。

私たちはいま、面と向かって会うことは叶いませんが、『チーム川高』として繋がっています。お互いの存在を信じ、励まし合って、この難局を乗り越えましょう。応援しています！

3年英語担当 上地進一郎先生より

“How precious our ordinary life used to be!”

今、まさにみんなが感じていることではないでしょうか。私自身も痛切に感じています。「普通」に学校に通って、「普通」に授業を受けて、「普通」に友達と話して…。これまで「普通」にできていたことが、実はどれほど貴重で、愛おしむべきものだったのか。「失ってみて初めて気づく」とはよく言われることですが、私もみんなと持てるはずだった4月からの時間を失ってみて、こんな当たり前なことに、こんな歳になって改めて気づかされています。

だから、学校が再開されて、みんなと一緒に授業ができるのを、みんなと将来について話せるのを、そんなみんなと一緒に積み重ねていく「普通」をすごく楽しみにしています！今は、大切な「ありふれた日常」に向けて、お互いに準備をひとつひとつ丁寧にしていく時。一緒にじゃなくても、一緒に頑張っていこう！

みんなの進路希望の実現と、何より大切な高校生活最後の1年が忘れられない素敵な宝物になるよう、1年間サポートさせていただきますね。

Share ordinary but precious days together!!

【マーガレットの花言葉】

- ・ 真実の愛
- ・ 信頼